

所 属 米子市漁業協同組合
氏 名 にいのう ひろし
新納 弘 (48歳)
船 名 だいさんしんこうまる
第三新幸丸 (2.5トン)
漁業種類 刺網



～米子市漁協の期待の星！～

漁師には魅力がある。やり方を覚えてしまえば、普通のサラリーマンの何倍も誰でも稼げる。そう語り始めた新納さんは、漁師となる前はトラック運転手をやっていた。ある日のことだった。漁師だった父親が、体力的につらくなってきたから手伝ってくれと頼んできた。そのことをきっかけに、35歳にして本格的に漁師としてやろうと決断した。そこから、父親と修行の日々。とにかく見て覚えろと、必死にいろんなことを覚えた。

そんな父親の教育のおかげもあってか、一人で漁を始めるころには様々な工夫を考えるようになった。そして聞く限り、稼ぎはかなり良さそうだ。その工夫を聞き出そうと思っても、「企業秘密だから教えないよー」と笑い飛ばされた。

そんな明るい新納さんにも悩みがある。その悩みとは、漁協に若い漁師があまりにも少ないということだ。新納さんは現在48歳だが、米子市漁協では2番目に若い。刺網グループでも結成して盛り上げていきたいというのが今の目標。笑顔が輝く新納さんが、きっと米子市漁協の未来も明るくしてくれるだろう。

～みなとまつりのパレードの名物に?!～

野球好きの新納さんは、阪神タイガースの大ファン。お祭りがあると阪神ファンの血が騒ぎ、境港で行われる「みなとまつり」のパレードでは、他の漁師が大漁旗を掲げているところを、一人阪神の旗を掲げていたそうだ。パレードに参加していた人は大注目。写真をたくさん撮られたと、なんとも楽しそうに話してくれた。こっそり教えてくれたのだが、来年以降はバージョンアップする計画があるのだとか。将来は、みなとまつりの名物となっているのかも・・・

(文責：永島 宗弥)